

桜の木の製作と桜の木を植えよう【6年生PTC】

もうすぐ卒業を迎える6年生。お世話になった佐方小学校で過ごすのも残りわずかとなりました。小学校生活最後の思い出を親子や先生方と作りたいたいと思い、今年度は、大きな桜の木の製作と植樹を企画しました。事前に冬休みの課題として、親子で手形の幹づくりと桜の形をしたメッセージカードに、小学校への感謝の気持ちと、中学校への目標を書いて準備をしました。後日その手形を大きな模造紙に並べて幹の形を作りました。PTC当日、活動が始まる前から数名の子どもたちが模造紙を一緒に運んでくれたり、ワクワクした様子で桜のメッセージカードを準備してくれている姿を見ることができ、成長を感じると共に嬉しく思いました。保護者の方もたくさん参加して下さり、73名の保護者に温かく見守られながら活動がスタートしました。

体育館で3クラスそれぞれ別の場所に分かれ、まずはメッセージカードに書いたことを、一人ひとりみんなの前で発表してもらいました。「小学校でたくさんの思い出ができてよかった」や、「たくさんの友だちや先生に感謝したい」など、小学校で充実した時間を過ごせていたことがわかるたくさんの声を聞くことができました。中学校への目標も、「勉強を頑張りたい!」「部活も頑張りたい!」「全力で楽しみたい!」など、とても前向きで意欲にあふれた発表でした。小学校に入学したばかりはまだまだ幼さが残るピカピカの1年生だったのに、いつのまにか心も体もたくましく成長した子どもたちの姿に、思わずウルッと心で涙を流した保護者の方も多かったのではないのでしょうか。

発表の後は、メッセージカードの貼り付けです。完成した桜の木は、親子の手形で作った幹がどっしりと根をはり、ぐんぐん成長した子どもたちのキラキラした桜の花が満開に咲いていました。親子の絆や成長を喜ぶ気持ちがたくさんつまった、とても素敵な桜になりました。

最後に、先生方から四文字熟語のメッセージを頂きました。1組担任・池田先生からは「雲外蒼天」、曇り空はいつかは必ず晴れる! 困難に負けず頑張ってもらいたい! 2組担任・土屋先生からは、「縁学豊心」、どんな縁も大切に、人に寄り添う豊かな心を! 3組担任・平野先生からは「尽最善常」、常に全力で! 後悔のない人生を! お世話になった担任の先生の方の力強く思いのつまったメッセージは、人生にとって大切なことを教えて頂いたように思います。

製作した桜の木は、小学校や先生や地域への感謝の思いを寄せて、卒業式に再び咲かせます。その後、桜の木を植えるための穴掘りを子どもたちが行いました。植える場所は校庭の倉庫の脇のフェンス側です。2月22日(木)の参観日の後に木を植えました。今は2メートルほどの高さの木ですが、子どもたちが成人した頃にはどんな様子になっているのでしょうか。数年後、子どもたちが「あの桜の木の前に集合ね!」などと、再び集うきっかけとなるような、そんな未来が待っていると素敵ですね。子どもたちと、桜の木と、共に成長する姿を、これからもずっと、親子で、地域に寄り添い見守り続けていきたいなと思いました。



学活委員長 高井恵美

(作成者)

学活委員 梶原なつき